

令和 8 年度笠松スポーツフェスティバル ジュニアソフトボール大会要項

- 1 趣 旨 大会をととして地域社会の輪を広めるとともに、各チーム相互の親睦を図り健康な体力づくりと競技人口の底辺拡大を目的とする。
- 2 主 催 公益財団法人茨城県スポーツ協会 笠松運動公園管理事務所
- 3 主 管 笠松スポーツフェスティバルソフトボール運営委員会
- 4 開 催 日 5 月 17 日(日) 6 月 21 日(日) 9 月 20 日(日) 10 月 18 日(日)
- 5 場 所 笠松運動公園 野球場(A・B・C ブロック)
- 6 参 加 資 格 茨城県在住の小学生(少年団・子ども会・学校)で編成され、一年間を通して参加と協力ができるチームとする。
- 7 参加登録料 1 チーム 3,000 円(税込)
※参加料は、4/25 に開催予定の代表者会議の際に徴収いたします。
※悪天候等で4日間すべての日で大会が開催できなかった場合は、参加登録料を返金いたしますが、4日間のうち1日でも大会を開催した場合は、返金することができませんので、予めご了承ください。
- 8 申 込 先 〒312-0001 ひたちなか市大字佐和 2197-28 笠松運動公園管理事務所内 笠松スポーツフェスティバル ジュニアソフトボール大会担当まで TEL 029-202-0808 FAX 029-202-6661
メール kasamatsu-sports@ibaraki.email.ne.jp
- 9 方 法 別紙申込書に必要事項を記入し、4 月 19 日(日)までにメール、郵送、FAX、またはご持参ください。
(なお、持参の場合、平日の水曜日は休館日のため窓口での受付は行いません。)
- 10 競技方法 A・B・Cブロック制リーグ戦方式とします。(Cブロックはミニソフトボールです。)
(1) 競技規則は日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルール適用します。
ただし、笠松大会特別ルールを設ける場合があります。
(2) 試合時間は60分間とします。ただし、試合開始後、55分を過ぎたら新しいイニングには入らない。
(3) 試合回数は 5 回とし、同点の場合は、7 回まで延長戦を行い、それでも同点の場合は引き分けとします。
(4) 3 回以降 7 点差の場合、コールドゲームとします。
(5) 試合球は公認 2 号ボールとします。
- 11 順位決定 勝率により決定する。
＜勝率における引き分けの扱い＞
1 引き分けがある場合、0.5勝と0.5敗をそれぞれに計上して勝率に換算する。
ただし、同率の場合は勝ち数が多いチームを上位とする。
例) 2勝1分 ⇒ 勝率 .833
2勝1敗 ⇒ 勝率 .667
1勝1敗1分 ⇒ 勝率 .500
1勝2分 ⇒ 勝率 .667
3分 ⇒ 勝率 .500
※2勝1敗と1勝2分は、勝率が同じであるが、勝ち数が多い2勝1敗を上位とする。
＜勝率が同じ場合の順位決定＞
(1) 勝ち数
(2) 全試合の得失点差
(3) 失点数
※ただし、以下に該当するチームについては、順位決定から除外することとする。
・リーグ戦が全4日開催された場合に、チームの事情等で2日参加できなかったチーム
・リーグ戦が全3日開催された場合に、チーム事情等で1日参加できなかったチーム
- 12 そ の 他
(1) 審判は各チーム交代(2名)で行います。
(2) 第 1 試合のチームはグラウンドづくりに協力してください(7:00)。
(3) 各ブロックの第 1 位・第 2 位・第 3 位・優秀選手を表彰します。
(4) チーム編成 概ね以下の基準を設けるが、各チームの状況を考慮し、学年や性別は問わないものとする。
Aブロック:6・5 年生が中心で編成されているチーム

Bブロック:5年生以下が中心で編成されているチーム

Cブロック:4年生以下で編成されているチーム

(5)大会当日 6:00 に態度決定を行い、笠松運動公園公式ホームページに予定を掲載いたしますのでご確認ください。また、大会中止の場合は、お申込時にご入力いただいたメールアドレス宛に中止のお知らせを送信いたします。

kasamatu.riyousaabisuka@sports.ibk.ed.jp からのメールが受信できるように設定をお願いいたします。

<問合せ先>

笠松運動公園管理事務所 (029-202-0808)

公式ホームページ(<http://www.ibaraki-sports.or.jp/kasamatsu2/>)

(6)体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。

(7)スポーツフェスティバルにおけるケガや事故については、応急処置はいたしますが事後の責任は一切負いませんので、各自または各チームでスポーツ傷害保険にご加入ください。

(8)個人情報については笠松スポーツフェスティバルのみに使用します。また、笠松スポーツフェスティバルで撮影した写真やお名前は、公式ホームページや SNS 等に利用することがあります。予めご了承ください。

*代表者会議を 4 月 25 日(土) 13:30から笠松運動公園山新スイミングアリーナ役員室Iで行いますので、必ずご出席ください。
(代表者会議受付にて、参加料を受領します。)

令和 8 年度 競技上の注意(笠松大会用)

1 選手の集合時間

試合開始予定時刻の 30 分前とする。

2 攻守順の徹底

- (1) 攻守の決定は、面の責任者によるコイントスによって決定する。
- (2) コインの表・裏の選択は、先順チームの主将に優先権を与える。

3 競技者席

- (1) 競技者席は、組合せ番号の若いチームが一塁側とする。
- (2) 競技者席に入れる人数は、あらかじめ登録されたメンバー以外は入ることができない。

4 用具の確認

- (1) バット及びヘルメットは、必ず監督並びにコーチは規格を確認し、規格外のもの及び危険と思われるものは使用しないこと。
- (2) ヘルメットは、走者になっても着用すること。捕手は危険防止のため、捕手用のヘルメット、スロットガード付きマスク、ボディプロテクター及び両足にレガースを着用しなければならない。また準備投球及びベンチなどでの投球練習の時も捕手または、代理者は、スロットガード付きマスクを着用しなければならない。

5 競技規則

- (1) 日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルールによる。また笠松大会特別ルールを設ける。
- (2) コーチャーボックスに入る選手は、必ずヘルメットを着用する。
- (3) ミニソフトボールについては、別紙(基本ルール)による。
- (4) 3回以降7点差の場合コールドゲームとする。
- (5) DP・再出場ルールについては、A・B ブロックについては監督の責任において使用してもよい。ただし、違反が発覚した場合はその後の試合及び次年度の大会への参加はできない。

6 競技場外線

- (1) A・B コートは、競技場外線を本塁の端から外野へ50mを描く。
- (2) フェアの飛球が、地面に落ちる前に競技場外線を越えた場合はホームランとし、その他の場合は2個の安全進塁権とする。
<効果> ボールデットで、各走者に投球時に占めていた塁から2個の安全進塁権を与える。
- (3) 全コートにおいて、試合を行う当該チームの保護者から1名ずつ線審を出す。

7 試合開始

- (1) Aブロックはゲーム前に、メンバー表(オーダー表)を必ず提出する。
- (2) 試合準備の合図で、自チームベンチ前に一列横隊に並び、
- (3) 集合の合図と同時に、駆け足でホームプレートをはさんで整列する。

8 攻守の交代・選手交代

- (1) 攻守の交代は、すべて駆け足で敏速に交代する。
- (2) 選手を交代させるときは、監督が球審に通告しなければならない。

9 抗議

- (1) 抗議は、審判員の判断に基づく判定に対しては許されない。ただしルール上の質疑については、監督に限りこれをたずねることができる。

10 選手登録

- (1) 2つ以上のブロックに出場するチームの選手は、登録を行ったいずれか1ブロックでのみ出場が可能である(二重登録の禁止)。ただし、何らかの事情で、登録メンバーに不足が生じた場合には、下位ブロックに登録した自チームの選手からメンバーを補充できるものとする(上位ブロックから下位ブロックへの補充は認めない)。
- (2) 上記 11(1)を適用した場合、試合は成立するものとし、リーグ戦に勝敗結果を反映させる。なお、当該選手は、その日の試合において、複数のブロックに出場することはできない。
- (3) A・Bブロックに補充選手が出場する場合は、ユニフォームおよび背番号は着用することとする。なお、補充選手がいないチームの場合は、5-0でリーグ戦の敗戦は確定の上で、メンバーを他チームより補充して、試合を行うことができるものとする。
- (4) 新たな選手の加入等により、大会期間中に選手の追加登録を希望する場合は、運営責任者へ報告を行い、許可を得ること。

11 ユニフォーム

- (1) 背中と胸にユニホームナンバーをつける。監督 30 番・コーチ 31、32 番・主将 10 番・プレイヤー 1～99 番とする。ただし、C ブロックについては省略してもよいが、ラストバッターはビブス(笠松から貸出)を着用すること。
- (2) 何らかの事情で、ユニフォームがそろわない場合は、運営責任者および対戦チームに報告を行い、許可を得ること。

12 コート責任者

- (1) コート責任者を割り当てる。コート責任者は、以下のチームのとおりとする。【4/25 代表者会議にて決定】

A コート…

B コート…

C コート…

<参考・R7年度コート責任者>

A コート…菅谷五台 A 松ヶ丘エース

B コート…村田小シャークス 勝田 Braves

C コート…東石川 C 舟石川・久米合同

13 その他

- (1) 試合球は検定 11 インチ(旧2号球)とし、特別な場合を除きボールの交換の申し出はできない。
- (2) 守備の打合せは、1回から5回までの間で2度に限り打合せを認める。
- (3) 試合開始時間及び球場は、状況によって変更する場合がある。
- (4) 品位のないスポーツマンらしくない言動及び行動は禁止する。(監督・選手・保護者など)
- (5) 競技場内およびその周辺で喫煙をしてはならない。(喫煙する場合は、所定の場所へ移動すること)
- (6) 参加者は、必ずスポーツ保険に加入済みの者であること。
- (7) 大会初日(5月17日)に開会式を行う(8:00)。各チームは、団旗を持参し、出場ブロックごとに整列する。なお、雨天等により、大会初日に試合ができない場合は、今年度の開会式は実施しないこととする。
- (8) 大会最終日(10月18日)、全試合終了後に表彰式を行う。表彰を受ける各ブロック上位3チームが参加することとする。
なお、雨天等により大会最終日が開催中止となった場合は、9月までの結果をもとに成績を確定し、各ブロック上位3チームを表彰する。その際、表彰式は10月18日に行い、表彰を受けるチームの代表者・主将・優秀選手が参加することとする。

【別 紙】

ミニソフトボール(基本ルール)

1 競技場

- (1) 塁間は14m・投手間8mとする。
- (2) 打者席は、縦1.2m×横1.0mの長方形を描く。
- (3) 捕手席は、本塁の端から後方3mの地点を中心に、半径1mのサークルを描く。
- (4) 競技場外線を本塁の端から外野へ40mを描く。

2 用具

- (1) ボールはミニソフトボール用(2号球)を使用する。
- (2) バットはウレタン製ミニソフトボール用を使用する。

3 チーム編成

- (1) 出場チームは4年生以下とし、10名とする。ただし、チーム人数が満たない場合は、お母さん3名以内補充してもよい。また、チーム人数が満たない場合でも、8名以上であれば参加を認める。
- (2) 男子単独・女子単独・男女混合でもよい。

4 ルール

- (1) 試合は、1試合3イニングの表裏の攻撃で得点を競うものとする。
- (2) 出場選手(10名)全員が打ち終わった時点で攻守交代する。なお、10人目の打者による得点は、塁打により決定する。
※10人目の打者の打撃が完了し、その打球を処理した守備者の送球が投球板付近に戻ったらボールデットとする。
- (3) 10人目の打者は、必ずビブスを着用する。(笠松で準備する)
- (4) ベンチ前に打順ごとに順番に整列する。
- (5) 投手は打者が打ちやすいボールを投げる。(速いボールの時は審判員が注意する)
- (6) 死球・バント・盗塁はなし、四球・三振はあり。
- (7) 各イニングの最後の打者には四球はない。
- (8) スライディングは禁止とする。
- (9) 各塁とも走り抜けることができる。(タッチしてもアウトではない)
- (10) 悪送球は、走者に1個の安全進塁権が与えられる。
- (11) フェアの飛球が競技場外線を越えたときは、本塁までの安全進塁権が与えられる。
- (12) フェアボールが地面に触れて、転がって競技場外に出たときは、各走者に投球時に占めていた塁から2個の安全進塁権が与えられる。
- (13) 守備は外野4名とし捕手以外のプレイヤーは、フェア地域のどこを守ってもよいが、打者の視界内に位置してはならない。
なお、チームの人数が満たないためにお母さんを補充した場合、お母さんの守備位置については、投手以外の内野1名、その他は外野とする。
- (14) 選手の交代は自由に交代してもよい。(無通告でよい)

5 その他

その他の詳細については、運営委員会会議で決定する。